

The Egg Tree House

ファシリテーター養成講座

2026年6月13日(土)・14日(日)

※事前オンライン研修あり

場所： 十住堂(真蔵院) 小金井市関野町2-1

時間： 各日9時~16時40分

費用： 一般 30,000円

大学生・大学院生 30,000円(スーパーバイザー付実習)

* 学生で実習単位を必要としない場合は20,000円

定員： 14名

* 申込のあった方に受講アンケートフォームを送ります。受付はアンケートの提出順です。

* 定員のうち、学生の上限を5名とさせていただきます。

— 申込 —

右記QRコード([Google フォーム](#))にご入力ください。

[公式HP](#)にもリンクがございます。

申込受付 4/10~5/15



主催 一般社団法人 The Egg Tree House

HP <https://eggtreehouse.org>

メール info@eggtreehouse.org



講座プログラム・スケジュール

記載のない各講座の講師はエッグツリーハウスのファシリテーターがつとめます。
講座内容が一部変更になる場合がございます。あしからずご了承ください。

オンライン講義（対面講座の前に必ずご視聴ください）

「はじめに」（約 60 分）

エッグツリーハウスの成り立ち・活動概要、ファシリテーターの役割など。

「グリーフケアの概略」（約 90 分） * 島菌進（東京大学名誉教授・上智大学グリーフケア研究所元所長）

グリーフケアとは、グリーフケアと日本文化・習俗、グリーフケアとアートなど。

「悲嘆の身体反応と野口体操」（約 90 分） * 新井英夫（体奏家・ダンスアーティスト・野口体操講師）

私たちが野口体操を大事にしている一つの理由には、グリーフの身体性というものがあります。悲嘆は心だけでなく、身体にもさまざまな形であらわれます。悲嘆を抱える人と向き合うファシリテーターになるために、なぜ野口体操を学ぶことが必要なのかを解説します。

6月13日（土） 対面1日目 受付8：30

9：00— 9：50 スタッフ・参加者自己紹介、真蔵院住職挨拶

10：00— 10：50 傾聴

相手の言葉に耳を傾けること、否定やジャッジすることなく、ありのままを受け止めること。ファシリテーターとしての基本姿勢をお伝えします。

11：00— 12：00 ロスライン

自分自身の喪失体験を図で描いて可視化し、他者に伝えるワーク。自己を振り返るとともに、喪失体験を他者に伝えること、他者の喪失体験を聴くことの実践を学びます。（語りたくないことは語る必要はありません）

13：00— 16：40 野口体操 * 新井英夫・板坂記代子（野口体操講師）

「ほぐす・つながる・つくる」をキーワードに、他者の悲嘆感情をどう受け止めるか、どう寄り添うかを身体感覚から学ぶワークです。（手をつなぐ、手のひらを合わせるなどの軽い身体接触を含む内容があります。動きやすい服装でご参加ください。着替え場所あります）

6月14日（日） 対面2日目 受付8：30

9：00— 10：30 子どものグリーフケア、子どものたまごの時間

エッグツリーハウスでは、「遊び」「アート」を主として子どものグリーフケアを行っています。子どもならではの特性や留意しているポイントなど、実践知・経験知をもとにお伝えします。

10：40— 12：30 アートとグリーフケア、遊びとグリーフケア

エッグツリーハウスでのアートや遊びを通じた子どもへのグリーフケアとはどのようなものか、実際に体験・体感をしていただきます。（ワークで水を使うので、多少濡れても良い服装でご参加ください）

13：30— 14：30 大人のとたまごの時間

子どものグリーフケアプログラムに参加している間、保護者は分かち合い「大人のとたまご」に参加します。そこではどのような時間が流れるのか、ファシリテーターとしての関わり方をお伝えします。

14：40— 15：40 自死遺族の語りに寄り添う

エッグツリーハウスでは、毎月、自死遺族の分かち合い「そっとたまご」を開催しています。自死遺族の悲嘆、後悔や自責の念を受け止める姿勢についてお伝えします。

15：45— 16：20 いろいろなお家

講座で体験したことを振り返り、希望を語り合います。

16：20— 16：40 修了式